

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅠ				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	140
授業概要、目的、授業の進め方	wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る インターンシップへの不安を解消し、やる気と自信を生む 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高めるワークを行う				
学習目標 (到達目標)	学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～11	学校を知る・これからのスケジュールを知る・学校の規律を学ぶ				
12～25	クラスインフォメーション 学年イベントについて知る・身だしなみ インターンシップ パスポートについての説明				
26～31	2年生との交流会 外部講師からの講話		的場先生の講話		
32～37	SNS授業 クラスインフォメーション		田中先生の講話		
38～42	海外研修のお話 卒業生講話				
43～44	SNS授業		田中先生の講話		
45～47	業界セミナー		各業界のプロよりお話あり		
48～50	クラスインフォメーション				
51～54	ホテル研修		オークラ新潟の見学・テーブルマナー研修		
56	SNS授業		田中先生の講話		
57～65	イベント、インターンシップ指導 クラスインフォメーション				
66 67	SNS授業		田中先生の講話		
68～70	オープンキャンパスイベントのリハーサルに参加				
71 72	インターンシップ指導				
73～75	クラスインフォメーション (国際2年生参加)				
76 77	SNS授業		田中先生の講話		
78 ～80	インターンシップ激励会				
81～85	スポーツ大会 クラスインフォメーション				
86 87	就職研修				
88～117	学年ホームルーム ・これからのスケジュールを知る (インターン後)				
118～122	後期スタート 学年ホームルーム 後期のスケジュールを知る				
123～140	クラスインフォメーション				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出席率 50%			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場なの		

成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 | で、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。

実務経験教員の経歴

外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		キャリアデザイン I			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	55
授業概要、目的、授業の進め方	セブ留学やカナダ留学など、国際ホテル科のみのインフォメーションやキャリアデザインを行う				
学習目標 (到達目標)	留学時に困らないように知識をつける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリントなど				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	外資系ホテル研修についてのインフォメーション				
3～7	外資系ホテルの企業研究 実際に訪問するホテルについて調べる				
8～12	外資系ホテルの企業研究 特別授業を受ける				
13～24	外資系ホテル研修 (1泊2日の研修)				
25～31	セブ留学についてのインフォメーション・調べ学習				
32～36	留学振り返り				
37～55	カナダ留学についてのインフォメーション・調べ学習				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
学習意欲50% 出欠席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場合なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	就職対策				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	○	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	就職活動の心構え		テキスト P.6～		
3 4	就職活動の流れ		テキスト P.14～		
5 6	自己分析 自分自身を知る		テキスト P.18～		
7 8	自己分析課題の発表				
9 10	職業を知る 自己分析		テキスト P.27～		
11 12	インターンシップ企業研究 目標の書き方				
13 14	履歴書・エントリーシートの書き方				
15 18	就職研修				
19 20	インターンシップ企業振り返り 情報収集・企業研究				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界セミナー				
担当教員	高橋 香織		実務授業の有無	○	
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	第一線で活躍している業界人からの講演会				
学習目標 (到達目標)	自分の目標を定める。視野を広げる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新入生、進級生別自己啓発講演会		プロジェクター、振り返りシート		
2					
3					
4	学科、コース別一流業界人講演会		プロジェクター、振り返りシート		
5					
6					
7	全校統一講演会 未来を考える		プロジェクター、振り返りシート		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			普段会えない人の話を聴き、視野を広げましょう。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		実践行動学 I			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	○		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1. 意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	パート1 マジックドア1 夢と目標	個人作業・グループディスカッション			
2	パート1 マジックドア2 間違っただ思い込みと言ひ訳	個人作業・グループディスカッション			
3	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①	個人作業・グループディスカッション			
4	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②	個人作業・グループディスカッション			
5	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう	個人作業・グループディスカッション			
6	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる	個人作業・グループディスカッション			
7	パート2 マジックドア2 考え方を換えれば行動が変わる	個人作業・グループディスカッション			
8	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する	個人作業・グループディスカッション			
9	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう	個人作業・グループディスカッション			
10	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる	個人作業・グループディスカッション			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう 留意する。			
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		コミュニケーション			
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	○		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1. 社会においてコミュニケーションの大切を知る 2. あらゆる場面でよりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身に付ける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション初級検定取得を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウィネット コミュニケーション技法・コミュニケーション検定 公式ガイドブック				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	コミュニケーション技法 ・行動をチェックする ・効果的な自己紹介の方法 ・コミュニケーション定義	講義 グループディスカッション			
2					
3	コミュニケーション技法 ・コミュニケーションの基本を身に付けよう	講義 グループディスカッション			
4	公式ガイドブック ・聞く力	講義 チェック問題を解答→解説			
5 6	公式ガイドブック ・話す力	講義 チェック問題を解答→解説			
7 8	公式ガイドブック ・来客対応 ・電話対応 ・アポイントメント 訪問 挨拶	講義 チェック問題を解答→解説			
9 10	公式ガイドブック ・接客営業 ・クレーム対応 ・会議 取材 ヒアリング ・面接	講義 チェック問題を解答→解説			
11	模擬問題練習	チェック問題を解答→解説			
12 13	過去問題 1	問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習			
14 15	過去問題 2	問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習			
16 17	過去問題 3	問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習			
18	不得意箇所の克服	過去問 1・2・3の苦手問題を再トライ			
19 20	過去問題 4	検定を想定して、マークシートにより問題を			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
過去問題テスト80%、 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全員の検定合格を目指すため、復習に力を入れること。 また、わからない内容は友人同士で共有し、解決できるように図らう。			
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		インターナショナルホスピタリティ					
担当教員		藤田 愛子		実務授業の有無		×	
対象学科		国際ホテル科		対象学年		1年	
必修・選択		必修		開講時期		前期	
		単位数		時間数		10	
授業概要、目的、授業の進め方		<p>留学に行く国についての基礎知識を覚え、現地での生活に役立てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の国の数や言語、日本の主な「数字」について感覚をもつ 2. 訪日客として多い国について調べ、そこからわかったことをまとめる 3. フィリピンの特徴や文化を調べる、まとめる 4. カナダの特徴や文化を調べる、まとめる 					
学習目標 (到達目標)		留学時に相手国のことを分かった上で、行動や判断ができる。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料		日本政府観光局HPのダウンロード資料					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	ホスピタリティとは何か			レジメ資料			
2	ホスピタリティの事例と実体験			ディスカッション			
3	日本の主な数字（国土、人口、男女比など）			ダウンロード資料やレジメの配布			
4	訪日外国人旅行者についての数字（人数、前年比、月別など）			ダウンロード資料やレジメの配布			
5	訪日外国人旅行者についての数字（人数、前年比、月別など）			ダウンロード資料やレジメの配布			
6	フィリピンからの訪日外国人観光客の特徴			ダウンロード資料やレジメの配布			
7	フィリピンからの気候・文化・風習			ダウンロード資料やレジメの配布			
8	カナダからの訪日外国人観光客の特徴			ダウンロード資料やレジメの配布			
9	カナダの気候・文化・風習			ダウンロード資料やレジメの配布			
10	全体のまとめ レポート提出の指示			ディスカッション			
評価方法・成績評価基準				履修上の注意			
<p>レポート50%、学習意欲50%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>				<p>訪日外国人観光客に対して、ホテルスタッフがすべきことや理解が必要なことを身につけていくうえでの第一歩の授業なので、世界地理の知識は事前に学習の指示を出す必要がある。</p>			
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習 I				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ ワード文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ WORD2016クイックマスター基本編 ワード文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2 3	PC設定 データダウンロード テキスト～36pまで		実習		
4 5 6	文書の編集		実習		
7 8 9	文書の印刷 文書の作成		実習		
10 11 12	表を使った文書の作成		実習		
13 14 15	図形や画像を使った文書の作成		実習		
16 17 18	検定対策 問題集 練習問題 1・2		実習		
19 20 21	検定対策 問題集 練習問題 3 模擬問題1		実習		
22 23 24	検定対策 問題集 模擬問題 2・3		実習		
25 26 27	検定対策 問題集 模擬問題 4・5		実習		
28 29 30	検定対策 問題集 模擬問題 6・7		実習		
31 32 33	サンプル問題		実習		
34 35	ワード文書検定3級 受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅱ				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学習する。				
学習目標 (到達目標)	パワーポイントの基本的操作を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	パワーポイントの基本操作 プレゼンテーションの作成		実習		
3 4	文字やスライドの編集 オブジェクトの作成		実習		
5 6	表やグラフの作成 表示効果とハイパーリンク		実習		
7 8	スライドショーの実行 プレゼンテーションカスタマイズ		実習		
9 10	Smart Artの活用 表・グラフの活用 動作設定		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			任意検定のパワーポイント検定初級を受検が可能である。モチベーションの高い学生とそうでない学生の温度差が出ないように配慮する。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		実用英検対策			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	1. 英語の習熟度別に分かれ、各自が検定合格や会話の上達を目指し取り組む。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	中学英文法を終了するドリル プリント教材 リスニングCD				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	レベルチェックテストの解説を行い、自分のレベルの把握ができる。簡単な自己紹介フレーズを板書し、自己紹介を英作文する。	テキスト発注する			
3~14	3級で多く出題される文法や構文の学習。リスニングCDの活用。単語テスト	テキストの配布／確認テストあり			
15	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。	期末テスト			
16 17	インターンシップでの接客場面で用いられる英語表現を学び、発音する。ペアワークをし、ロールプレイで発音を確認する。				
18~27	英検3級で良く出題される文法や構文を学習する。リスニングCDの活用。	確認テストあり			
28 29	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。				
30~42	リスニング・英作文対策① 過去問題集の解答解説・見直し	単語テストあり			
43 44	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。				
45	振り返り・まとめ	本番の試験終了後にまるつけと2次対策			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		入学前の英語実力テストにおいて、3級合格レベルに達しなかった。英語に苦手意識をもっている。			
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	Basic English Communication				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1～3年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	留学に行く国についての基礎知識を覚え、現地での生活に役立てる。 1. 高校までの基本文法の復習（文型・品詞・動詞） 2. 高校までの基本英文法の復習（時制・仮定法・分詞） 3. 自分の苦手な文法を決め、ペアワークの相手がわかるように授業を組み立てる 4. 模擬家庭教師として教える。相手に伝えるときの言葉遣いと共に自分の文法理解に役立てる				
学習目標（到達目標）	英文法の基本の総復習をし、自分の知識不足の分野や伝え方のくせ、改善点がわかる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEIC 公式問題で学ぶボキャブラリー（一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会） TAC TOEIC L&R TEST 受験準備 基本英文法+αコーステキスト（TAC）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	単語テスト（和訳 200問）		TOEIC公式問題で学ぶボキャブラリーより出題・問題を解き、まるつけ後、発音チェック		
3 4	単語テスト（英単語 50問）		TOEIC公式問題で学ぶボキャブラリーより出題・問題を解き、まるつけ後、発音チェック		
5～8	Unit7 動詞の時制（完了形2）/Unit 8 動詞の時制（未来形）		TOEIC L&Rのテキストの問題を解く・解説		
9	単語テスト（英単語 50問） ペアワーク（期末テスト）		ペアワーク授業の発表		
10	ペアワーク（期末テスト）		ペアワーク授業の発表		
11～14	Unit10 形容詞と副詞 / Unit 12 品詞		TOEIC L&Rのテキストの問題を解く・解説		
15～18	Unit 13 動詞の時制（完了形2）		TOEIC L&Rのテキストの問題を解く・解説		
19～25	ペアワーク・期末テスト準備		今までに習った英文法の中から、一単元を選び授業を組み立て発表する。そのための準備を進める		
26～30	単語テスト（英単語 50問） ペアワーク（期末テスト）		ペアワーク授業の発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
単語テスト20%、実習課題60%、学習意欲20% 成績評価基準は、A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。			基本英文法は理解している部分も大きいと思うが、それを相手に分かりやすく教えるための言葉選びや例題準備への姿勢が重要。英語を理解しながらも、伝える語彙力や教える気配りが、日常生活や社会人となったときの態度や評価につながり、英語以上に活かせることも伝える。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	English Communication I				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1～3年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	英語での会話量を重視する授業。 基本のフレーズを学習した後、お題についての英文や事例を参考に英語でのディスカッションを中心に進める。				
学習目標 (到達目標)	インプットしている英語を間違ってもいいからアウトプットしようと努力する。英語で話すって楽しいとわかる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	日常会話 自己紹介 他己紹介を英語で行う		プリントを使いながら進める。		
3 4	ディスカッションや自己表現をするときによく使われる話題や表現、単語、発音を学ぶ。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
5 6	今回のテーマ life on Earth. ディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
7	事例に対して、自分の意見をまとめる。表現を聞く。ディスカッションの準備を行う。今回のテーマ Literacy and Education				
8	Literacy and Educationのディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
9 10	Wedding のディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
11 12	Japanese Food のディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
13 14	Sport のディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
15 16	Fashion のディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
17～20	期末テスト準備 3人一組 チームでテーマを決めて、ディスカッションをコーディネートする。				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
単語テスト20%、実習課題60%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英検準2級レベル。とにかく話をさせるように、身近な話題から取り掛かるように工夫する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービスⅠ（実務）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	インターンシップ前に必要な知識を座学形式で身につける。 実際の機材などを確認しながら、目から入る情報も大切にする。				
学習目標（到達目標）	基本的な料飲部門の知識を身につける（什器、食器、備品類、西洋料理、朝食、日本料理、中国料理の基礎知識）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第1章 料飲部門の概要		ホテルの料飲部門を知る		
2	第1章 料飲部門の概要		ホテルレストランの種類、宴会の種類を知る		
3	第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ		
4	第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ、陶磁器の種類を学ぶ		
5	第2章 什器・食器・備品類の知識		ガラス食器の種類を学ぶ、リネン類、ワゴン類を学ぶ		
6	第4章 西洋料理の基礎知識		フランス料理のフルコースの概要を学ぶ		
7	第4章 西洋料理の基礎知識		フランス料理のフルコースを概要を学ぶ		
8	第5章 朝食の基礎知識		朝食の料理内容やアメリカンブレイクファーストやコンチネンタルブレイクファースト等を学ぶ		
9	第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		日本料理の種類や作法、中国料理の種類や作法を学ぶ		
10	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			基本的な知識を身につけることは大切です。基本的な備品の名前や西洋料理、朝食、日本料理、中国料理を学ぶことで料飲の世界の奥深さや魅力も知ってほしいと考えています。また、知識を身につけることでお客様へのご案内に自信が付き、接客時にお客様へお伝えすることができます。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		料飲サービスⅠ（演習）			
担当教員	村瀬 孝	実務授業の有無	なし		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	インターンシップ前に必要な知識を実践形式で身につける。 実際に動きながら、自身の体に技術を覚えさせるような意気込みで進めていく。				
学習目標 （到達目標）	お客様のお迎えからお見送りまでの一連のレストランサービスができるようになる。 インターンシップ前にサービスに対する不安を解消する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1、2	接客のお辞儀と挨拶、サービスの実践	お辞儀と接客7大用語がきれいにできる。プレート2枚持ちを実践し、お皿の重さを感じてみる。			
3、4	①プレートサービスと下げの方法の理解と実践 ②トレイ、グラス、ウオーターピッチャーの扱い方や運び方の理解と実践	2つのチームに分かれて実践し、交代して授業を行う			
5、6	①サーバーの扱い方の理解と実践 ②ワインボトルの扱い方、サービスの実践	2つのチームに分かれて実践し、交代して授業を行う			
7、8	①前回の復讐、一連の流れ（パン、プレートサービス、下げ） ②一連の流れ練習（トレイでのグラスサービス、水サービス、ワインサービス）	2つのチームに分かれて実践し、交代して授業を行う			
9、10	①②一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、離席補助、お見送り）	一連の流れを止めながら、確認していく			
11、12	一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、水、パン、ワイン、プレートサービス、下げ、離席補助m、お見送り）	しっかりと一連の接客ができるように練習する			
13、14	一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、水、パン、ワイン、プレートサービス、下げ、離席補助m、お見送り）	しっかりと一連の接客ができるように練習する			
15、16	実技テスト①	4名ずつ実技テストを行う			
17、18	実技テスト②	4名ずつ実技テストを行う			
19、20	苦手克服	インターンシップ前の不安解消のために苦手部分を練習する			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		インターンシップの前に基本的技術が身につくように、日々の授業で習う技術を大切にしてください。また、技術を磨くことは自身のためでもあります。いちばんはお客様に楽しいお食事の時間を提供できるためだということを理解しながら、技術を身に付けてください。			
実務経験教員の経歴		ホテルの現場で9年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービスⅡ（実務）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	インターンシップで学んだ知識を振り返るとともに、料飲に必要な知識を座学形式で身につける。 自身の進路も考えながら、料飲部門の魅力を感じる。				
学習目標（到達目標）	前期に学んだ料飲部門の知識を振り返り、深めるとともに新たな知識を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インターンシップ振り返り、前期知識振り返り				
2	第4章 西洋料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
3	第4章 西洋料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
4	第4章 西洋料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
5	第5章 朝食の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
6	第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
7	第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
8	2年次のコース選択のための講義・実演		料飲部門の仕事の魅力を講義で伝え、技術の実演を行う		
9	2年次の国家検定取得の意義と動機付け		国家検定について説明し、取得の意義や重要性を伝える		
10	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			前期に基本的な知識だったものを、後期は細かく学んでいき、1つ1つの知識を深めていきます。料飲の世界の奥深さや魅力を身をもって感じてきたことを改めて実感してほしいと考えています。そこから、自身の2年次のコース選択や国家検定取得に向けた意欲につなげてほしいとも考えています。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービスⅡ（演習）				
担当教員	村瀬 孝		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	前期で学んだ技術が身についているか確認し、インターンシップ中に学んだ個々の技術も確認し、成長を実感する。 また、さらに高度な技術を身につけるとともに、2年次のコース選択の考察にも活かす。				
学習目標（到達目標）	前期技術がしっかりと身についている。インターンシップで学んだサービスを振り返る。更に高度な技術を実践を交えて身につける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	インターンシップ経験確認と前期技術の振り返り				
3、4	テーブルサービスの形態を実践で学ぶ		ロシア式、フランス式、イギリス式、アメリカ式		
5、6	スープチュリーン、ワイン抜栓を実践で学ぶ				
7、8	テーブルクロスのおき方、畳み方等実践で学ぶ				
9、10	フルコースのテーブルセッティングを実践で学ぶ 確認テスト		前菜、スープ、魚、肉、水、シャンパン、白ワイン、赤ワイン		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			様々な技術がある中の基本的なものが自身に身につけているかどうか確認をしてください。細かいことのようにも、それを実践することがお客様のためになっているということも実感してほしいです。インターンシップで経験したお客様との接客を思い出し、2年次のコース選択をどうするのかしっかりと考えるきっかけにもなってほしいと考えています。		
実務経験教員の経歴		ホテルの現場で9年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホテル概論 I			
担当教員	村瀬 孝	実務授業の有無	なし		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1. ホテルや宿泊産業の概要、種類・形態とその組織、及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	1. ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	適宜、レジュメ資料を配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ガイダンス/ホテルの種類・組織・職種・ホテルで働く魅力		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
2	ホテルの成り立ち・歴史/ホテルの形態				
3	宿泊部門の仕事（組織・職種・業務内容・基礎知識）				
4	料飲部門の仕事（組織・職種・業務内容・基礎知識）				
5	宴会部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）				
6	ブライダル部門の仕事（組織・職種・業務内容・基礎知識）				
7	セールス&マーケティング部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）				
8	セールス&マーケティング部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）				
9	管理部門の仕事（組織・職種・業務内容・基礎知識）				
10	ホテルで働く資質・心構え/キャリアプラン				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50% 授業態度10% レポート40% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後続くインターンや就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴		ホテルの現場で9年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ブライダルスタンダード			
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、ブライダルの由来について理解する 2、ディスカッションにて意見を出し合う				
学習目標 (到達目標)	知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ノートのみ				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～4	挙式に関する由来について理解	実務			
5～8	披露宴に関する理解	実務			
9.10	前期のまとめ	実務			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		学んだことを積極的に人に伝える。 職業を意識しながら理解を深める。			
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		フューネラルビジネス				
担当教員		馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科		全科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方		1、社会に出たときに知っておくべき葬儀の一般的な参列マナーや社会常識を学ぶ				
学習目標 (到達目標)		確認テスト				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		レジュメ作成				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	冠婚葬祭の言葉の意味を知る。クイズを通して葬儀業界を身近に感じてもらう。			パワポで説明。レジュメを配布。		
2	葬祭を取り巻く環境（死亡者数増加～遺族の要望の多様化）を知る			パワポで説明。レジュメを配布。		
3	葬儀の一般的な流れと最新の葬儀スタイルを知る			パワポで説明。レジュメを配布。		
4	葬祭業の職種を知る			パワポで説明。レジュメを配布。		
5	ケーススタディからオリジナルの葬儀プランを考える			パワポで説明。レジュメを配布。		
6	葬儀後の法要について学ぶ			パワポで説明。レジュメを配布。		
7	遺族の心理（グリーフ）の症状とそのケアを学ぶ			パワポで説明。レジュメを配布。		
8	香典の表書きの意味と内容を知る			パワポで説明。レジュメを配布。		
9	通夜・葬儀に参列するときのマナーを知る			パワポで説明。レジュメを配布。		
10	確認テスト					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				葬儀の業界用語は専門用語が多いため、かみくだいた表現で説明しなければならない。社会に出たときに知っておくべき一般常識の範囲を伝える。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	宿泊実務 I				
担当教員	村瀬 孝		実務授業の有無	○	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1. ホテルのベル業務を中心に荷物預かりや客室案内、EV乗降方法を学び、インターンシップにつなげる。				
学習目標 (到達目標)	1. 宿泊関連業務を理解し、実践的な実務を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	適宜、レジュメ資料を配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1. 2	宿泊部門の業務		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
3. 4	ドアマン・ベルマンの仕事内容		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
5. 6	フロントサービス（エントランス～ロビー～フロントデスク案内まで）		各グループに分かれて実践演習（ロールプレイ）		
7. 8	フロントサービス（エントランス～ロビー～フロントデスク案内まで）		↓		
9. 10	フロントサービス（フロントデスク～エレベーター～客室まで）				
11. 12	イレギュラー対応				
13. 14	実技テスト実施		テスト		
15	まとめ/振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験50%、レポート20%			宿泊関連業務の基礎、やりがいを学び、インターンに向けての実践的な実務を可能にする。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ホテルの現場で9年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテル概論Ⅱ				
担当教員	村瀬 孝		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1. マーケティング部門、総務人事部門、施設管理部門、仕入購買部門、経理会計部門の業務知識の概要を把握する。				
学習目標 (到達目標)	1. ホテルの管理部門の業務内容の把握と体系的な基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	適宜、レジュメ資料を配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1. 2	ガイダンス		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
3. 4	マーケティング部門の業務内容・役割				
5. 6	マーケティング部門の業務内容・役割				
7. 8	人事・総務部門の業務内容・役割				
9. 10	人事・総務部門の業務内容・役割				
11. 12	仕入・購買部門の業務内容・役割				
13. 14	仕入・購買部門の業務内容・役割				
15. 16	施設管理部門の業務内容・役割				
17. 18	施設管理部門の業務内容・役割				
19. 20	経理会計部門の業務内容・役割				
21. 22	経理会計部門の業務内容・役割				
23. 24	経理会計部門の業務内容・役割				
25	期末課題/まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50% 授業態度10% レポート40%			ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後続く就職活動・進路選択に役立てていく。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ホテルの現場で9年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		プロトコール			
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	なし		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	NPO法人日本マナー・プロトコール協会が実施する日本人として社会人として必須のマナーやプロトコール（国際儀礼）に関わる知識と技能を認定する資格です。国際ビジネス、サービス産業、教育業界をはじめ、就職、ビジネスの第一線で活かすことができます。				
学習目標（到達目標）	マナー・プロトコール検定3級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	マナー&プロトコールの基礎知識				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	オリエンテーション、マナーやプロトコールを学ぶ意義 第1章 マナーの歴史と意味	日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち			
2	第2章 国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則、パーティ、国旗			
3	第3章 社会人に必要なマナー	言葉遣い、話し方、服装 贈答（祝儀、不祝儀、袱紗）、手紙のマナー			
4	第4章 ビジネスシーンのマナー	会社の仕組み、電話応対 来客応対（茶菓対応）、ビジネス文書、電子メール			
5	第5章 和食のマナー	和室のマナー			
6	第6章 西洋料理のマナー	西洋料理とアジアの食事のマナー			
7	第7章 冠のしきたり	主な通過儀礼			
8	第8章 婚のしきたり	婚約、結婚式のマナー			
9	第9章 葬のしきたり	葬儀、法要の日本知識			
10	第10章 祭りのしきたり 模擬問題	年中行事			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率50%、学習意欲（授業態度）20%、検定合格30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		マナーは人と人をつなぐ潤滑油。お付き合いに必須の冠婚葬祭のしきたりや食事の作法、通過儀礼などが確認できます。 社会人として必要なビジネスマナーや異文化交流の基本となるプロトコールは、業種や職種が変わっても必要なものです。生涯にわたって役立つものです。			
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	高橋 香織		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	ホテル・ブライダル・葬祭業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内に出来るようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発声・発音ができる。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル		ヘアメイク実習		
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習		ヘアメイク実習		
5 6	メイク練習		ヘアメイク実習		
7 8	ヘアメイクを完璧に仕上げる		ヘアメイク実習		
9 10	歩き方:基本姿勢 表情 お辞儀の仕方		テキスト28・29Pを参考にしながら		
11 12	ストレッチ 表情 ウォーキング 美しいお辞儀の仕方		実習		
13 14	ストレッチ 表情 ウォーキング 美しい座り方		実習		
15 16	話し方:発声・活舌トレーニング		テキスト38～42p 50～52p		
17 18	発声・活舌トレーニング 敬語プリント		テキスト53～66p		
19 20	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ		テキスト67～68p		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュース I				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	65
授業概要、目的、授業の進め方	今まで学習した成果の発表をチーム分かれて制作し、保護者に向けて発表する				
学習目標 (到達目標)	進級制作の成功 自分たち自身の成長を実感する 自分たちで立てた目標を達成する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	進級制作発表会の概要と心構え				
3 4	テーマ・タイトル決め				
5 6	役割分担・チームメンバー役割決め、スケジュール作成				
7 8	スケジュール作成				
9～22	制作時間				
23～26	チームごとのリハーサル①				
27～34	チームごとのリハーサル②				
35～45	制作時間				
46～55	全体リハーサル				
56～65	最終リハーサル				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEIC I				
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICの基本を知り、500点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。 1、Listeningでは、スピードになれる。リンキングを耳にならす。 2、Readingでは、しっかりとした品詞の違いやPart5の点数アップを目指す				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、500点を目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	Part1	写真描写問題 問題形式を把握する	CDを使いながら問題を解き、解説する P45～		
5 6	Part2	WH疑問文について	CDを使いながら問題を解き、解説する P57～		
7～10	Part3	会話問題	CDを使いながら問題を解き、解説する P69～		
11 12	Part4	放送文の冒頭で、トークの種類を聞き取ろう	CDを使いながら問題を解き、解説する P81～		
13 14	Listening 期末テスト		過去問題にチャレンジ		
15～26	Part5	問題形式を把握しよう 名詞 時制 現在分詞など	問題集の問題を中心に解いて、解説する P95～		
27 28	Part7	解答の手順を理解し、テクニックを知る	問題集の問題を中心に解いて、解説する P177～		
29 30	期末テスト		過去問題にチャレンジ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
Listening定期試験40%、Reading定期試験40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			TOEICを解くこと自体はじめての学生が多い。正解率を上げることも大切だが、全体をモーラすることも大切。一つの単元に集中しすぎず、最後まで解き切ることをまずしなければなりません。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	English Expression I				
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	雑誌やDVDなどから日常表現を学び、同じスピード、発音をもって話せるようになる。 1、身の回りの表現を英語で話してみる、自分のこと、家族のこと、得意なことなど 2、DVD、洋楽の表現からスピード、発音の練習 3、英語で表現する楽しさを体感する				
学習目標 (到達目標)	日常表現を身につけ、留学時に役に立てる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	イントロダクション 自己紹介	DVDや洋楽を適宜使いながら進める。			
3 4	Family Treeを作る、英語で家族構成を言える、説明できる				
5~26	DVD Friendsから表現を学ぶ 洋楽から表現を学ぶ	DVDや洋楽を適宜使いながら進める。			
27~32	自分ストーリーを織り交ぜた、紙芝居をつくる	自分を表現するための英語は各自調べて、質問をする。			
33~35	各自のシェアタイム	先生、他学生からの評価を受ける			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
宿題チェック 20% テスト 20% 学習意欲60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英検準2級レベルの学生たちなので、基本文法よりも日常会話や身近な表現をもとに進めるほうが効果的である。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	中国語会話 I				
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1. 中国語の発音を理解し、発音できる 2. ホテルやレストランで聞かれる、伝えることを中心に会話ができる				
学習目標 (到達目標)	自己紹介、数字の聞き取り、簡単な物の名前ができるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	中国語 はじめの一步				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	中国語の発音	テキスト P8～			
2	自己紹介文・発表 第1章	テキスト P9～			
3 4	中国語の発音 自己紹介 代名詞	テキスト P8～			
5	数字 物の名前	テキスト P31～			
6	数字 物の名前 会話練習	テキスト P34～			
7 8	平常文、疑問文、否定文	プリント			
9 10	総復習 今までに習った表現を正確に言える・書ける	期末テスト			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験40%、学習意欲60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			中国語を学ぶことが初めての学生が多いため、発音や書き方など間違いやすいところを含めて伝え、勘違いが起きない工夫をする。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、外国語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	インターンシップ研修				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無			
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	1年前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	230
授業概要、目的、授業の進め方	ホテル業界で働くことにより、接客することの喜び、責任、第一印象の大切さなどを知る。スタッフとのコミュニケーションのとり方、仕事に対する意識、忍耐力を身につける。				
学習目標 (到達目標)	初めにたてた目標を達成し、新たな目標を設定する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～230	現地スタッフによる研修		予習、復習をしっかりと行う。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
レポート提出。研修先スタッフからの評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			体調管理が第一。日々の目標を定め、一步一步前に進んでいきましょう。		
実務経験教員の経歴	現地ホテルスタッフによる指導を受ける				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		海外語学研修			
担当教員	藤田先生	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	105
授業概要、目的、授業の進め方	<p>海外の学校に通うことで、自分の今の力を把握し、今後の課題を見つける。 現地の先生やクラスメイトとの触れ合いをもち、お互いに切磋琢磨する。 個々のレベルに合わせて、スケジュールやテキストが決定するため、負担の少ない授業をうけながら目標を達成することができる。</p>				
学習目標 (到達目標)	自分の英語力の把握と今後の英語と将来に対するの目標を一度見定める。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	オリエンテーション(スケジュールを知る・学校の規律を学ぶ) レベルチェックテスト		スムーズな授業展開のために、文法用語を英語で理解しておく。		
3~103	レベル別英会話授業。 現地ホテルスタッフとの交流時間がある(4時間程度)。海外で働くやりがいを直接きいて、自分の将来の考える材料とする。				
104・105	修了式 英語でスピーチをする。				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		まずは体調を崩さず日々の学習に取り組むよう環境に慣れる指導する。わかる単語だけを繰り返し使うのではなく、新しい単語・熟語を増やすこと、先生と同じスピードで発音できるように心がけさせる。			
実務経験教員の経歴	現地校の教員による指導を受ける				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	海外語学留学				
担当教員	藤田先生		実務授業の有無	○	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1・2年	開講時期	1年後期/2年前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	425
授業概要、目的、授業の進め方	週5日間、毎日5～6時間のレベル別授業を受ける。海外の学校に通うことで、自分の今の力を把握し、今後の課題を見つける。 ホストファミリーの家に身を置き、通学をする。生活する中でテキストでは習わない生活英語を体験し身につける。現地の先生やクラスメイトとのコミュニケーションをとり、自分の将来について向き合う。 個々のレベルに合わせて、スケジュールやテキストが決定する。				
学習目標 (到達目標)	自分の英語力の把握と今後の英語と将来に対して向き合い、2度目のインターンシップ先を決定する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	現地学校の指定教材（レベル別）・プリント・英語でのレポート作成など				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	オリエンテーション レベルチェックテスト		スムーズな授業展開のために、文法用語を英語で理解しておく。		
3～400	レベル別英会話授業・レクリエーションなど				
401～425	ホストファミリーや友達との交流				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 20% テストの成績 80% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			環境が大きく違うためストレスをためないように促す。またストレスだと感じて好転するタイミングがあるから、部屋に閉じこもっているのではなく、外出したり、クラスメイトに話しかけるように指導する。単語量、スピードなど個々の目標をしっかりと立てさせてから出国する。		
実務経験教員の経歴	現地校の教員による指導を受ける				